東京都市大学新聞
Print edition: ISSN 2187-0896

© 東京都市大学新聞会

東京都市大学 新聞会
横浜：横浜市都筑区牛久保西3－3－1
世田谷(支)：世田谷区玉堤1－28－1

東京都市大学フェア in 静岡
～超える、つながる、その夢に。～

9月5日13時より、「東京都市大学フェアin静岡～超える、つながる、その夢に。～」が静岡県JR静岡駅下車徒歩1分に所在する「ホテルアソシア静岡」にて開催された。

会場の様子

現在、本学には、学部生と大学院生を合わせて約7800名の学生が在学しており、そのうちの約340名が静岡県の出身者である。同県出身の多くの卒業生が県内外問わず活躍をしている。横浜キャンパスには、静岡県内から新幹線を利用し通学する学生もいる。このように本学と静岡県には、伝統的に深いつながりがある。そのつながりをより深く、より強固なものにするために今回の交流イベントは開かれた。なお、このイベントは本学が昨年度より着手した「東京都市大学アクションプラン2030」の柱の一つ「ブランド力向上プロジェクト」の事業のひとつであるとのことだ。

イベントでは、講演会だけではなく、本学と静岡県の交流をより一層深めるために、大学と保護者との連絡会、進学相談や静岡県庁の協力による就職相談をはじめとする各種相談会、大学紹介展示コーナー、校友会静岡支部総会、懇親会が行われた。このように、多くの企画が一堂に会したイベントを本学はこれまで行ってこなかったが、今回は本学、校友会、講演会の連携により実現し、長野県上田市で行われた「東京都市大学シンポジウムin上田」をスケールアップした企画の実現となった。静岡県出身の在学生の保護者約60名や同県出身の在学生、支部総会・懇親会に参加するOB・OGと本学関係者だけではなく、一般の皆さんや、高校生とその保護者、静岡県に所在する企業関係者なども多く参加し、多種多様な人々が集まり交流するイベントとなった。

講演会

講演会では、三木学長の挨拶から始まり、特別講師の本学OBであり現校友会副会長の原口兼正さん（セコム株式会社元代表取締役社長）が「二度の大震災の経験を通したBCP（事業継続計画）とセキュリティ」について語った。

まず三木学長は、「今回は本学とゆかりのある静岡県でイベントを行えることが出来て良かった。今回のようなイベントが行えるということは、沢山の人が応援・協力してくれるからである。今後もこのようなイベントを各地域で行っていきたい。」と語った。また話の中で、今回のイベントは「東京都市大学アクションプラン2030」の一環であることにも触れ、「今後は英語教育に力を入れ卒業時に、英語で困ることのない学生を育成する大学を目指していきたい。そして、大学教育に力を入れることにより、学生の学力を向上させて世界の大学ランキング300位以内を目指したい。本学を国際都市東京で存在感を示す有数の私立大学にしていきたい。」という構想を力強く語った。

特別講師の原口さんは阪神淡路大震災と東日本大震災を経験して学んだことや得た教訓などを語った。震災後の不安を例に、いつ切れるか分からない懐中電灯ではなく、残りの使用量が目に見えるロウソクを使うようになるということやガソリン不足に陥りやすい事などを述べた。最後には、一般の人が出来る地震対策として、ガソリンスタンドに行くときにはガソリンを満タンにしておくべきだということや地震によって停電が起こったときは電化製品のコードを抜くなど、今やっておけること、地震が起こったら真っ先にやるべきことなど具体例を用いて紹介された。

講演会終了後には、来場者全員に本学の女子学生チームとキッコーマン飲料株式会社が共同開発した飲料商品「デルモンテ　花のつぼみ　ローズウォーター」がプレゼントされ、その場で口にしている人も数多くいた。

各展示ブースに足を運ぶ参加者

その後、大学と保護者との連絡会が開かれた。保護者会では、本学現在の就職率・就職先など就職関係のことは勿論のこと、学修についてのことやキャンパスライフなど学生が日々どのような環境で過ごしているのかなどの説明があった。この連絡会に参加した保護者にインタビューしたところ、「子供が通っている大学のことがよく分かった。子供が良いところに就職できるように親が出来ることをやっていきたいし、最低限のフォローはしたい。」との話を聞くことができた。

隣接する会場では、進学相談ほか各種相談会、大学紹介展示のブースが開催された。来場した高校生は本学の就職状況などを本学職員や静岡県庁の職員から興味深そうに聞いていた。またブースでは進路相談、就職相談をするだけではなく、女子学生の活動を支援する男女共同参画室による相談コーナーや2015年度よりスタートした国際人材育成プログラム（TAP）などのパネルが置かれ、様々な人が足を運び思い思いの質問をしていた。

校友会静岡支部の総会では、本学の静岡出身のOB・OGの方が多数集まり、本学での学修についてなど大学運営についての話があり、参加者は真剣に耳を傾けていた。

総会後に開催された懇親会では同県出身のOB・OGの他に、学長、副学長をはじめとする大学関係者が参加。さらに上述の連絡会に参加していた保護者の皆さんも多数参加した。従来の懇親会では、保護者は参加することがなかったが、今回のイベントは「静岡県と交流する」というのが大きなコンセプトとなっているため保護者の方々も参加し、大いに交流を深めた。懇親会は終始和やかな雰囲気で進んでいき、参加した皆が心から楽しそうであった。開会にあたって千野慎一郎静岡支部長は「本当にこういったイベントを行えることが出来て良かった。とても嬉しいです。今回のイベントは沢山の保護者様が参加してくださって、交流することが出来て感無量です。」と目に涙を浮かべながら語った。

盛況のうちに今回のイベントは幕を閉じたが、「東京都市大学アクションプラン2030」のブランド力向上プロジェクトでは、今後も様々な施策を通して、本学の価値向上に取り組んでいくとのこと。ぜひ注目していきたい。

紙面より

1 都市大フェア in 静岡
2 研究室紹介
3 研究室紹介
4 鉄道研究部

あなたの活動、
取材させてください。

東京都市大学新聞会連絡先

当会では学内、学外に問わず、東京都市大学に関連した活動に対し取材依頼を受け付けております。

また、紙面無いように関するお問い合わせも、以下の連絡先からお願いいたします。

【WEB コンタクトページ】
http://www.tcu-times.net/contacts
【メールアドレス】
times@tcu.ac.jp